

はじめに

区は、平成30年3月、「目黒区保健医療福祉計画」を改定するとともに「第7期目黒区介護保険事業計画」を策定し、だれもが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるように総合的に施策を推進してまいりました。

このたび、3年ぶりの計画改定となりましたが、この間、個人や世帯が抱える生活上の課題が一層複雑化・複合化している状況に加えて、新型コロナウイルス感染拡大によって地域の見守り活動や居場所への参加が困難となったことなどから、社会的孤立の深刻化も危惧されています。

新たな「目黒区保健医療福祉計画」、「第8期目黒区介護保険事業計画」では、国が福祉改革の基本に掲げる「地域共生社会」の実現を大きな柱としています。「地域共生社会」とは、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことです。

新型コロナウイルス感染症が私たちの生活に与えた影響の大きさは、計り知れません。しかしながら、このような難局を、区民・事業者・行政が知恵を出し合い、力を合わせて、地域のつながりをより強靱なものに変えていく契機とし、制度や分野の関係を越えて支え合う地域社会づくりを一層推進してまいります。

両計画の改定に際しましては、感染予防策を講じながら目黒区地域福祉審議会において丁寧にご議論いただいたほか、各種アンケート調査や素案パブリックコメント等を通して区民の皆様より多くのご意見を頂きました。あらためて厚く御礼申し上げます。

令和3年3月、区は、まちづくりの基本的な理念や将来像などを示す新たな基本構想を定めました。この基本構想のもと、本計画を実現するために全力で取り組んでまいります。今後とも皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年3月

目黒区長

青 木 英 二

目黒区福祉都市宣言

(平成6年6月1日)

いつくしみ
支えあう
人の絆を大切に
一人ひとりがすこやかに
家族や友といつまでも
安らぎと生きがいに満ち
お互いを尊重しあう
心としくみの生きるまち
目黒のまちは
こうありたい

私たちは、人間性尊重の精神に立ち、
共に手をたずさえて、
豊かな福祉都市を築いていくことを決意し、
ここに宣言します。

目黒区健康都市宣言

(平成12年10月20日)

健康
それは いきいきと生きるための いしずえ
健康
それは 日々の暮らし方から 生まれるもの
健やかに生きていくまちは わたくしたちの願い
ともに手をたずさえ つくっていこう

わたくしたちは、すべての区民がそれぞれに健康で
生きがいのある生活をおくることができる、
健康なまちめぐろの実現を目指すことを宣言します。

(表紙のイラスト)

見守りめぐねっとキャラクター「まもりん」

「見守りめぐねっと」とは、見守る人・見守られる人を特定しない形で、地域の皆さんが日常の生活や仕事の中で何らかの支援を必要とする人の「ちょっと気がかり」なことに気づいたとき、地域の包括支援センターへご連絡いただく、緩やかな見守りの仕組みです。

オレンジイルカの「まもりん」は、そのPRキャラクター。名前は、「守る」と「ネットワークの輪＝りん」の意味を含んでおり、公募により決まりました。口ぐせは、「元気でイルカな？」。

元気で
イルカな？

